

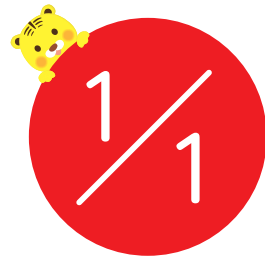


〔発行〕中 央 区 議 会
中央区築地一丁目1番1号
〔電話〕3543-0211(大代表)
〔中央区議会ホームページ〕
<https://www.kugikai.city.chuo.lg.jp/>

ちゅうおう —Chuo City Assembly—

区議会だより

第4回定例会



令和4年(2022年)
No. 253

令和3年度中央区一般会計補正予算2案を可決

キャッシュレス決済ポイント還元事業などに伴う予算案、また、子育て世帯への臨時特別給付に伴う予算案をそれぞれ可決しました。(6面)

中央区難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例などを可決

条例の一部改正、指定管理者の指定、副区長の選任同意など21議案を原案のとおり可決・同意しました。(6面)

迎春



高橋 元気
(かがやき中央)



高橋 まきこ
(かがやき中央)



梶谷 優香
(新風会)



田中 耕太郎
(自民党・新青会)



かみや 俊宏
(自民党・新青会)



太田 太
(自民党・新青会)



二瓶 文徳
(未来会議)



しらす 夏
(維新の会)



奥村 暁子
(日本共産党)



青木 かの
(かがやき中央)



小坂 和輝
(かがやき中央)



渡部 恵子
(新風会)



竹内 幸美
(自民党・新青会)



海老原 崇智
(自民党・新青会)



佐藤 あつこ
(自民党・新青会)



堀田 弥生
(公明党)



墨谷 浩一
(公明党)



山本 理恵
(区民の風)



小栗 智恵子
(日本共産党)



木村 克一
(自民党・新青会)



富永 一
(自民党・新青会)



瓜生 正高
(自民党・新青会)



塚田 秀伸
(自民党・新青会)



磯野 忠
(自民党・新青会)



原田 賢一
(自民党・新青会)



中嶋 ひろあき
(自民党・新青会)



押田 まり子
(自民党・新青会)



田中 広一
(公明党)



中島 賢治
(公明党)



渡部 博年
(区民の風)

年賀状など時候のあいさつ状は、公職選挙法により禁止されておりますので、新年のごあいさつは、本紙上をもって代えさせていただきます。掲載は議席順です。

年頭にあたって



中央区議会議長
木村 克一

あけましておめでとうございます。

区民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より本区議会の活動につきまして多大なるご支援、ご協力を賜り、中央区議会を代表して厚く御礼申し上げます。

昨年の東京2020大会はコロナ禍での開催となりましたが、さまざまな制約の中でも、弛まぬ努力をしてきた選手の姿に心打たれました。選手村においては、20万羽を超える折り鶴ウェブの取り組みによるオブジェを展示して、区民の皆様はじめ多くの方が心を込めて作りあげてきた「おもてなし」の想いを届けることができました。

一方で、昨年も気候変動が要因とされる大規模な気象災害が中国地方や九州地方で発生しました。10月に、23区では東日本大震災以来の最大震度5強の地震を記録し、災害への備えの重要性を再認識した年でもありました。

懸念される新型コロナ「第6波」への警戒はもとより、コロナ禍で打撃を受けた社会・経済活動の本格的な再開に向けた対策、保育や介護などの福祉施策の充実に教育環境の整備、脱炭素社会の実現への取り組み、晴海のまちびらきに築地市場跡地のまちづくりなど課題は多岐にわたります。

私たち中央区議会は、区民の皆様の声を的確に区政に反映させ、すべての区民が安心して暮らすことができる中央区を実現するため、区行政と力を合わせて、当面する諸課題の解決に迅速かつ果敢に取り組んでまいりる決意であります。

結びに、本年が明るく希望に満ち、輝きにあふれた年でありますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

主 な 内 容

- 一般質問……………2面～4面
- 委員会の活動、請願……………5面
- 議案の審議結果、各会派新年あいさつ……………6面

第4回定例会の経過

11月18・19・22日	本会議
24・25日	企画総務委員会
26日	本会議
29日	区民文教委員会
30日	福祉保健委員会
12月1日	企画総務委員会
2日	本会議

提出された議案

- ◆区長提出議案
 - ・条例……………4件
 - ・予算……………2件
 - ・契約……………7件
 - ・土地の購入……………2件
 - ・選任・任命同意……………2件
 - ・その他……………6件

一般質問の要旨

一般質問とは
区の仕事全般について、区長等に報告や説明を求めることです。



日本共産党中央区議会議員団
奥村 暁子

新型コロナ第6波に備えた対策について

- 問** 墨田区は、都が利用調整を行うコロナ病床とは別に、区の裁量で使える病床を33床確保したが、本区も今後に向けて必要では。
答 病床確保は、都が広域行政で対応するべきものと認識しており、必要な区民が入院できるよう体制の強化を働きかけていく。

コロナ禍での区独自の事業者支援について

- 問** 板橋区などのように、都や国の支援策の対象外となる事業者

でも利用できる支援金や給付金などを本区でも実施する考えは。
答 直接的な金銭給付は、財政負担や効果の面から適切ではない。支援は今後の事業展開や地域のにぎわいの創出につながる事が重要で、今後も関係団体や事業者の声を聴き、支援に取り組む。

緑内障予防について

- 問** 緑内障は日本で失明原因の第一位となっている。区民健康診査で実施している眼圧検査や眼底検査だけでは発見が困難なため、視野検査や屈折検査、細隙灯顕微鏡検査、眼底撮影、前房隅角検査なども健康診査に取り入れることを求めるが、区の見解を。
答 眼底検査と眼圧検査を実施し、緑内障含め疾患の疑いのある方を精密検査や治療につなげている。新たな検査の追加は考えていないが、受診率向上のために周知や受診勧奨を充実していく。

その他質問事項 ①コロナ対策の国の給付金 ②時短営業に対する協力金への課税 ③携帯電話の基地局アンテナ設置 ④保育の質の確保と学童クラブ整備



中央区議会自由民主党議員団・新青会
田中 耕太郎

コロナ禍の自治体運営について

- 問** (1)これまでの2回のワクチン接種状況の分析は。(2)3回目接種について、区民への情報発信と理解の促進および具体的な取り組み手法とタイムスケジュールは。(3)ワクチン・検査パッケージ制度に対する本区の関わり方は。(4)第三者認証に対する本区の関わり方は。(5)区独自で抗原検査キットの配布や助成を行う考えは。
答 (1)11月14日時点で、12歳以上の区民の約80%が2回接種を終えている。(2)接種の勧奨や追加接種の予約時期等を個別に通知し、区のおしらせ等で周知していく。11月25日以降2回目接種から原則8カ月経過する方に対して接種券を発送し、12月から集団接種を、高齢者の追加接種が本格化する2月からは個別接種を開始する。(3)国が実施しているものであり、区は区民への活用方法等の周知に努めていく。(4)飲食店等の感染症対策については、都の第三者認証制度の取得促進に加え、区では協定を締結した料飲関係団体等に対しセーフティマークを発行し、団体が策定したガイドラインに基づき、感染拡大防止に努めている。(5)都が実施するものと認識。区は検査を受けやすい環境づくりを都に要望する。
問 コロナ禍を契機に対外的な接点が減少し、孤立している高齢者、子育て家庭、若者などがいると思われる。区として実態把握、情報発信、相談窓口の充実が必要と考えるが、区の方針は。
答 ひとり暮らし等の高齢者は、民生委員による実態調査を行い、

おとしより相談センターで対応。子育て世帯には、妊娠届出時の面接や乳児家庭全戸訪問などを行い、本年2月からは子育てのオンライン相談を実施。若者の孤立化については正確な実態を把握することは難しいものと認識。今後、既存のネットワークを活用し、孤立しやすい家庭の実態把握に努め、情報発信に取り組む。

DX(デジタルトランスフォーメーション)^{*1}の推進について

- 問** (1)本区のデジタル戦略の基本方針は。(2)DX移行への課題と移行時期は。(3)デジタル完結型サービスの早期導入が必要では。
答 (1)(2)デジタル技術を活用して「区民に便利でやさしい区役所」を目指すため、昨年度は情報化基本方針を策定し、現在はこの方針で定めたアクションプランについて全庁をあげて取り組むよう指示している。その実行には、デジタル技術の豊富な経験や専門知識を有し、区の実務に則した判断を行い、DXを推進する人材が不可欠。新年度、こうした技術を有する民間人材を採用し、推進体制の強化を図ることとしている。(3)他自治体の事例なども参考にし、検討を重ねている。区民の利便性やシステムの安定性、安全性などを総合的に判断し、積極的な導入を目指していく。

屋外広告物への規制強化について

- 問** デジタルサイネージや屋外照明などの光源によって生じる光害に関して、ガイドラインの策定および国・都への要望についての進捗状況は。
答 要望書の提出を検討してきたが、国でガイドラインのさらなる改訂が行われ、屋外照明の定義の見直し、点灯時間管理の必要性など、光害の原因となる光源の運用基準が明示された。この運用基準の遵守の徹底に向け、指導要綱の制定の準備を進めていく。



中央区議会自由民主党議員団・新青会
太田 太

発達障害、精神障害の方と雇用する側の対応について

- 問** 発達障害、精神障害のある方の就労後の職場定着に関して、本区の所感は。
答 障害者就労支援センターや就労支援事業所の支援により、職場定着が着実に進んでいるものと認識している。コロナ禍による

就労環境の変化も懸念されるが、今後も、障害者や雇用する側のニーズなどを踏まえ、働きやすい職場環境の構築に努めていく。
問 発達障害、精神障害のある方を雇用する側の受入体制を整えるため、そうした方の特性や必要な配慮を学ぶことが重要である。専門家による研修を区が率先して取り組むことで、企業側にも波及していく好循環が生まれ、長期職場定着が可能になるのでは。
答 本年、管理職を対象に、専門家による発達障害の特性や適切な配慮等を理解するための研修を新たに実施した。また、障害者就労支援センターでは、毎年企業向けセミナーを開催し、企業の障害者雇用担当者等を講師に招き、雇用や職場定着に関する普及啓発を行っている。今後は、こうした取り組みを障害者雇用のモデルとして民間企業に示すとともに、就労支援センターの取り組みを周知し、受入側の意識改革と受入体制の整備の促進を図る。
(次ページへつづく)

防災拠点運営委員会と消防団との関わりについて

問 大規模災害時には、各地域の防災拠点運営委員会と地元消防団との積極的な連携が必要不可欠であり、一層区の働きかけが必要と考えるが、区の見解は。

答 地域防災計画において、消防署と同様に消防団を防災拠点運営委員会のアドバイザーとして位置付けており、委員会活動や防災拠点での訓練に参加していただいている。今後も、地域防災力のより一層の強化に向け、平常時から積極的にご参加いただけるよう、区内消防署と調整を図っていく。

中央区の人権意識向上について

問 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして、

国際都市を目指す本区の人権意識向上についての方向性は。
答 区のおしらせ等で人権に関する周知を図るほか、毎年人権擁護委員の協力のもと区民や来街者等に対し啓発活動を行っている。いかなる種類の差別も許さないという、オリンピック憲章の理念が浸透するよう、人権施策の推進に取り組んでいく。
問 啓発活動年間強調事項のなかに、他国への人権擁護についての言及があって然るべきでは。
答 国においては、毎年度、全国統一の重点目標と啓発強調事項を定めており、本区も国に同調し、人権の啓発活動を実施している。重点目標や啓発活動強調事項は、その時々々の社会情勢や人権侵犯事件の動向等を勘案し、国において定めているものであり、国において検討されるものと考えている。

その他質問事項 ①「HPV ワクチン」を受けられなかった方への対応について ②動物愛護施策と晴海の猫保護施設の今後の活用方法について



かがやき中央

高橋 まきこ

地域と学校の連携・協働について

問 コミュニティスクールの導入状況と、今後の方向性は。
答 導入していないが、学校評議員制度を代用。今後も、地域と連携・協働し、地域とともにある学校づくりを推進していく。
問 (1)文科省のデジタル化推進プランと中央区教育委員会が疑問

を持つオンライン授業の教育効果との整合性は。(2)オンラインでの授業に参加したい意向に対する検討経緯と今後の対応は。
答 (1)学校とのつながりを持つという目的では効果的だが、運用面にさまざまな制約があり、学習効果は限定的。(2)合理的な理由により登校できないと校長が判断した場合、欠席日数として記録しないことが可能であり、不利益が生じないよう対応していく。

母子保健と児童虐待防止について

問 中央区においても港区同等の出産費用助成拡大が必要では。
答 60万円台後半の分娩費用で利用できる聖路加助産院を誘致し、出産環境を整えたり、出産支援祝品としてタクシー利用券1万円分を贈呈しており、新たな出産費用に対する助成は難しい。



かがやき中央

小坂 和輝

コロナ禍の子どもの心に寄り添った対応

問 (1)ストレスを抱えたり、うつ症状を呈した子ども達の把握状況は。(2)「Q T A 30」のような子どものストレス評価の導入を。
答 (1)調査で、学校は楽しいという回答が相対的に減少。心身に影響を受けた可能性もあると分析。(2)今年度より全小中学校で学

校生活に関するアンケート調査を実施。ストレスを一人で抱え込むことなく安心して生活が送れるよう適切な支援を行っていく。
副籍制度^{※2}等を活用し、すべての子どもが共に学ぶ場づくり

問 「副籍制度」の理念をどのように捉えているか。
答 我が国が目指す共生社会の実現が根底にあり、障害のある人となない人が交流を通じて相互理解を図り、互いに支え合いながら共に暮らす地域社会を創り上げていくことと認識している。

その他質問事項 ①コロナ感染対策 ②タブレット等の学びの支援 ③郷土資料のデジタル化 ④市場跡地ヘリポート ⑤勝鬃橋を再び開く ⑥月島三丁目再開発 ⑦住民を排除しない再開発 ⑧大規模再開発での環境アセス ⑨本庁舎整備 ⑩次の副区長選任の考え方



中央区議会公明党

田中 広一

認知症の予防と早期発見の取り組みなどについて

問 コロナ禍の外出自粛等の影響で、区内の認知症の現状は。
答 認知症の方の数に大きな変化は見られないが、相談は増加傾向。コロナ禍で認知症のリスクの高い方が増えていると認識。
問 聖路加国際病院は、都が指定した地域連携型認知症疾患医療センターであるが、どのように連携し施策に取り組んでいるのか。
答 認知症カフェ等への講師派遣や認知症支援担当者会議への出席などにご協力いただいている。認知症が疑われる方を把握した際は、医療機関につなげるためのアドバイスもいただいている。
問 認知症対策の強化には、検診を特定健康診査に付帯する形で行うことが必要。専門医療機関と連携し、検診事業も含めた「とっとり方式認知症予防プログラム」^{※3}を導入していく考えは。
答 「とっとり方式認知症予防プログラム」を含め、他自治体の

取り組み情報をさらに収集し、聖路加国際病院と協議を行いながら、どのような認知症施策が効果的なのかを検討していく。
問 認知症の理解促進や各施策の周知は、さまざまな機会を工夫しながら取り組むべきと考えるが、新型コロナウイルスワクチン接種時の待機時間に施策等のパンフレットを配付する考えは。
答 区では、出前講座等のほか、認知症の方本人やその家族の声を認知症サポーターに紹介している。今後も、ワクチン接種会場におけるチラシ等の配布も含め、理解の促進に努めていく。

銀座・築地周辺みどりのプロムナード構想などについて

問 公共施設や再開発事業等においては、生態系に配慮した緑の創出を進め、環境教育にも貢献できる取り組みを検討すべきでは。
答 これまでも環境教育の一環として小学校の授業で公園を利用する取り組みを行ってきた。今後も、公園整備や再開発事業等において、「グリーンインフラガイドライン」に基づき、水と緑の持つ多様な機能を活用しながら、緑地の確保や充実に努める。

築地市場跡地など今後のまちづくりについて

問 市場跡地外周の仮囲いや敷地の一部を有効活用する考えは。
(次ページへつづく)

答 今後とも、地元関係者からの要望に耳を傾けながら、地域活性化につながる検討を行い、都などの関係者に働きかけていく。

問 基本計画2018の改定にあたっては、将来像を踏まえたまちづくり方針などを策定し、着実に進むよう検討していくべきでは。

答 基本計画を改定する際は、まちづくりの視点も十分に考慮し、誰もが具体的な絵姿として未来の中央区のイメージができ、将来への希望を持てるよう検討していく。

その他質問事項 ①新型コロナウイルス感染症対策について



中央区議会区民の風
渡部 博年

コロナウイルス感染症について

問 (1)3回目のワクチン確保と接種体制は。(2)中央区両医師会との連携強化が必要では。

答 (1)接種記録に基づき国から配分される。計画に従って滞りなく接種できるよう、集団接種および個別接種会場を整備していく。(2)昨年から中央区・日本橋両医師会と協議し、体制整備に努めてきたが、今後も流行状況を見定めながら適切に対応していく。

問 国で検討している行動制限を緩和するワクチン・検査パッケージは、ワクチン接種またはPCR検査の陰性証明が必要であ

るが、今後の本区のPCR検査体制の確保と接種証明は。

答 陰性確認に用いる検査は、都で実施するものであり、本区におけるPCR検査体制に影響はない。接種証明書の電子化については、マイナンバーカードを利用してワクチン接種記録システムに基づいた証明書が自動発行されると聞いている。

協働について

問 (1)自治会、町会、地域団体などと地域の課題に対して、今まで以上の協力関係を築く必要があると考えるが、区の見解は。(2)区民との協働、地域力向上のために区職員の人材育成も必要では。

答 (1)地域コミュニティ連携事業補助金創設による連携支援や地域との施設のあり方検討など新たな手法により、社会貢献活動団体間や区との連携強化を図る。(2)区の研修では協働により課題解決をすることの意義や必要な知識・スキルの習得を図っている。「区民のために、区民とともに」という意識を持った人材育成を目指す。

その他質問事項 ①交通環境について ②防災力向上について



立憲民主党新風会
梶谷 優香

災害・防災対策について

問 本区では、防災対策の充実の一環として防災用品のあっせん事業を行っているが、乳幼児に必要な防災用品もあっせんしては。

答 自助の強化につながることから、社会福祉法人が取り扱う乳幼児向け防災用品も、あっせん品目への追加を検討していく。

安全・安心・魅力あるまちづくりについて

問 本区のデザインマンホールの設置状況は。デザインマンホー

ル巡りなど観光の観点からも、設置について区の見解を。

答 本区内に設置はされていない。区内への設置は、本区に相応しいテーマ・デザインや周辺との景観の調和を含めた設置場所の選定などの課題がある。一方で、区内観光の一層の推進を図っていく観点から、都が実施している事業の効果や、他区の意見等を確認するとともに、観光協会とも連携し、検討していく。

妊娠・出産～子育て環境の充実について

問 都の「子育て応援とうきょうパスポート事業」について、区がさらなる普及啓発に取り組む予定は。ハッピー買物券や新生児誕生祝品の買物券の登録店舗と紐づけてみては。

答 今後は、ホームページ等も活用した普及啓発に取り組んでいく。ハッピー買物券等の取扱店に限らず、商店街に事業の目的の説明と参加を促し、子育て世帯と地域のつながりを深めていく。

その他質問事項 ①高齢者福祉の充実について ②教育環境の充実・学習活動の推進について



維新の会
しらす 夏

教育環境の充実について

問 学校の危機管理について、教職員の平時からの備えと意識、学校、家庭、地域、関係機関の連携体制含め、区のを。

答 各校は安全教育全体計画を作成し、本区の特性や環境、児童・生徒の発達段階に応じて、計画的な指導を行っている。学校での緊急時には、教職員の即応体制が重要なため、日頃より危機意識の醸成に努めている。今後も、地域の消防署や警察署と連携するなど、各校や地域の実態に応じた安全教育を着実に推進していく。

高齢者支援について

問 情報格差に対して、社会のデジタル化をどう進めていくのか。

答 パソコン教室等を通して、不安感の解消に努めるとともに、紙媒体や対面での情報提供で格差を生じさせないよう取り組む。

- ※1 DX（デジタルトランスフォーメーション）とは？**
- 進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
- ※2 副籍制度とは？**
- 都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の区市町村立小・中学校（地域指定校）に副次的な籍（副籍）をもち、直接的な交流や間接的な交流を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度のこと。
- ※3 とっとり方式認知症予防プログラムとは？**
- 鳥取県が、日本財団、鳥取大学及び伯耆町と連携して開発した独自のプログラム。「運動」「座学」「知的活動」を組み合わせた一連のサイクルを週1回継続して行うことを特徴とする。

本議会の発言内容は会議録に収録され、後日、本庁舎情報公開コーナーおよび区立図書館に備えますので、そこで閲覧することができます。また、区議会ホームページにも掲載しますのでどうぞご利用ください。

委員会の活動（令和3年11月～12月）

常任委員会

企画総務

- 〔議案の審査〕
- ◆令和3年度中央区一般会計補正予算
 - ◆京橋プラザ分庁舎冷暖房設備取替工事請負契約
 - ◆土地の購入について
 - ◆中央区職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- ほか8件
- 〔主な報告事項〕
- ◆任期付職員（デジタル推進担当副参事）の任用について
 - ◆令和3年特別区人事委員会等勧告概要について
 - ◆「中央区国土強靱化地域計画」（素案）について
 - ◆令和3年度中央区総合防災訓練の実施結果について
- ほか2件

区民文教

- 〔議案の審査〕
- ◆指定管理者の指定について（区立日本橋公会堂）
 - ◆指定管理者の指定について（区立浜町集会施設）
 - ◆指定管理者の指定について（区立区民健康村）
 - ◆指定管理者の指定について（区立図書館）
- 〔主な報告事項〕
- ◆令和3年度区立小・中学校児童・生徒体力等調査の結果について
 - ◆区立中学校自由選択制の申込み状況について
 - ◆晴海西小学校（仮称）開設等に伴う月島地域における区立学校の対応について
- ほか7件

福祉保健

- 〔議案の審査〕
- ◆中央区難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例
 - ◆中央区国民健康保険条例の一部を改正する条例
 - ◆特別区人事及び厚生事務組合規約の一部を変更する規約
- ほか2件
- 〔主な報告事項〕
- ◆福祉施設の指定管理者の評価結果について
 - ◆特別区人事・厚生事務組合が設置・管理する厚生関係施設の追加について
 - ◆中央区立敬老館の指定管理者候補事業者の決定について
 - ◆難病患者福祉手当の支給対象疾病の追加について
- ほか4件

環境建設

- 〔主な報告事項〕
- ◆東京都市計画道路の変更について
 - ◆中央区災害廃棄物処理計画中間報告について
 - ◆東京エコサービス株式会社の経営状況等について
 - ◆年末年始のごみ・資源の収集について
 - ◆住宅市街地の開発整備の方針の改定について
 - ◆まちづくり協議会の報告
 - ◆区立住宅等の入居者募集について
 - ◆「中央区総合交通計画」中間のまとめについて
 - ◆首都高速道路通行車両の新場橋への接触事故について
 - ◆用途地域等の変更について

特別委員会

築地等地域活性化対策

- 〔主な報告事項〕
- ◆中央区立日本橋公会堂等の指定管理者候補事業者の決定について
 - ◆まちづくり協議会の報告

コロナウイルス・防災等対策

- 〔主な報告事項〕
- ◆新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ◆ちゅうおう安全・安心メール等による防犯情報の配信状況等について

子ども子育て・高齢者対策

- 〔主な報告事項〕
- ◆福祉施設の指定管理者の評価結果について
 - ◆中央区国民健康保険料等における延滞金の徴収等について
 - ◆中央区立敬老館の指定管理者候補事業者の決定について
 - ◆晴海四丁目公私連携幼保連携型認定こども園の運営事業者の公募及び選定について

東京2020大会・晴海地区公共施設整備対策

- 〔主な報告事項〕
- ◆東京2020大会のレガシーについて
 - ◆折り鶴ウェブの実施結果について
 - ◆晴海特別出張所（仮称）等複合施設の開設時期等について

請願・陳情の提出方法

（本文）

〇〇に関する請願（陳情）

理由
年 月 日
氏 名
住所（電話）
中央区議会議員
〇〇様

（表紙）

〇〇に関する請願（陳情）

紹介議員
〇〇〇〇
（陳情の場合は紹介議員は必要ありません）

※署名の場合は押印不要です。

区議会では、区政について皆さんからの意見や要望を、請願または陳情として受け付けています。

〔請願の書き方〕

請願書には、邦文を用いて、請願の件名、趣旨、理由、提出年月日、請願者の住所（請願者が法人の場合は法人の名称及び所在地）を記載し、請願者（法人の場合は代表者）が署名または記名押印をしてください。2人以上の方が請願する場合は、それぞれ住所を記載し、署名または記名押印をしてください。

請願書の表紙に、紹介議員の署名または記名押印が必要です。なお、紹介議員のいない場合については陳情としての扱いになります。

取り下げられた請願

旅館業法に関連する条例等についての請願

令和3年11月18日の本会議にて上記請願を取り下げることに同意しました。

議案の審議結果

 (賛成：○)
(反対：×)

議案名	自民党・新青会	かがやき中央	公明党	区民の風	新風会	日本共産党	維新の会	未来会議	議決結果
説明									
○区長提出議案									
令和3年度中央区一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
18億3,825万7千円の追加 総額 1,285億5,305万円									
中央区難病患者福祉手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
難病患者福祉手当の支給対象疾病を追加する。									
中央区後期高齢者医療に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
保険料に係る延滞金の徴収及び減免について定める。									
中央区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
保険料に係る延滞金の徴収及び減免について定めるほか、規定を整備する。									
中央区晴海特別出張所（仮称）等複合施設建設工事（建築工事）請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約金額 49億4,670万円									
契約の相手方 松井・クリスタルジャパン・萬世建設共同企業体									
中央区晴海特別出張所（仮称）等複合施設建設工事（機械設備工事）請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約金額 13億9,700万円									
契約の相手方 新日空・東テク建設共同企業体									
中央区晴海特別出張所（仮称）等複合施設建設工事（電気設備工事）請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約金額 10億3,180万円									
契約の相手方 大栄・緑建設共同企業体									
中央区立晴海西小学校（仮称）及び中央区立晴海西中学校（仮称）建設工事（建築工事）請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約金額 98億7,800万円									
契約の相手方 大成・シマ・CROSS建設共同企業体									
中央区立晴海西小学校（仮称）及び中央区立晴海西中学校（仮称）建設工事（機械設備工事）請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約金額 21億4,280万円									
契約の相手方 三建・日新建設共同企業体									
中央区立晴海西小学校（仮称）及び中央区立晴海西中学校（仮称）建設工事（電気設備工事）請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約金額 11億3,300万円									
契約の相手方 浅海・川瀬建設共同企業体									
京橋プラザ分庁舎冷暖房設備取替工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
契約金額 2億6,900万5千円									
契約の相手方 日本設備・ナジコ建設共同企業体									
土地の購入について	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
購入予定金額 77億5,000万円									
購入先 東京都									
土地の購入について	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
購入予定金額 99億5,000万円									
購入先 東京都									
指定管理者の指定について（区立日本橋公会堂）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
指定管理者 株式会社パシフィックアートセンター									
指定の期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日									
指定管理者の指定について（区立浜町集会施設）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
指定管理者 タフカ・日本メックス共同事業体									
指定の期間 令和4年4月1日～令和7年3月31日									
指定管理者の指定について（区立区民健康村）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
指定管理者 富士屋ホテル株式会社									
指定の期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日									
指定管理者の指定について（区立敬老館）	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
指定管理者 アクティオ株式会社									
指定の期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日									
指定管理者の指定について（区立図書館）	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
指定管理者 株式会社図書館流通センター									
指定の期間 教育委員会規則で定める日～令和9年3月31日									
特別区人事及び厚生事務組合規約の一部を変更する規約	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
地方自治法第290条の規定に基づく。									
中央区職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	原案可決
職員の期末手当の支給月数を改定する。									
中央区副区長の選任同意について	○	×	○	○	○	×	○	○	原案同意
吉田不曇氏の選任に同意する。									
中央区教育委員会委員の任命同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
坂本順子氏の任命に同意する。									
令和3年度中央区一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
6億1,208万円の追加 総額 1,291億6,513万円									

区議会各会派

新年を迎えて



中央区議会自由民主党議員団・新青会 幹事長 磯野 忠

あけましておめでとうございます。昨年は、命を守る、そして生活、経済を向上させる、この二本柱でコロナに対峙しました。ワクチン接種の方法や商工業融資、地域経済振興策の提案などを行い、ときに1億円を超す補正予算に結実しました。本年も、皆様に寄り添い、素晴らしい中央区にすべく、3回目ワクチンの円滑公平な接種、切れ目のない経済対策等に取り組みます。皆様にとって輝かしい一年になりますようお祈り申し上げます。

かがやき中央 幹事長 青木 かの

新年明けましておめでとうございます。コロナとの戦いも足かけ3年目に入ります。これまでに得た区民の皆さまからのご意見と行政の知見を活かし、いかにwith感染症の新しいシステムを構築できるかが、問われています。さらに、この2年で特に影響を受けた、子どもたちの学び環境、仲間たちと楽しむ環境を引き続き整備いたします。私たち、かがやき中央（青木かの・高橋元気・小坂和輝・高橋まきこ）は、今年も皆さまの一番近くで活動してまいります。

中央区議会公明党 幹事長 墨谷 浩一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年末は医療従事者の皆さまをはじめ区民の皆さまのご協力によりコロナ感染者数が大幅に減少しました。しかし、新たな変異株「オミクロン株」が確認され第6波への予断を許さない状況が続いております。感染拡大防止対策はもとより地域経済対策、医療・介護施設への支援、高齢者福祉の充実、子育て支援、防災・減災対策などあらゆる分野において「大衆とともに」との立党精神のもと全力で取り組んで参ります。皆さまの益々のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。

中央区議会区民の風 幹事長 渡部 博年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃から区民の皆さまのご支援ご協力により議会活動を支えて頂き、心より感謝申し上げます。コロナ禍で私たちの暮らしや働き方が大きく変容しました。このような状況下だからこそ、人と人との絆や心の通い合いを重視した政策やまちづくりに取り組んで参ります。また、まちの活気や賑わいを取り戻す経済対策の展開により「住み・働き・集う商業のまち中央区」の再生に努めて参ります。結びに、区民の皆さまにとって幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

立憲民主党新風会 幹事長 渡部 恵子

新型コロナウイルスによる落ち着いた日々をお見舞い申し上げますとともに謹んで新春のお慶びを申し上げます。中央区は3月15日、75周年を迎え、築地市場跡地・晴海選手村跡地・八重洲口から日本橋、茅場町等各地で新たなまちづくりを展開して参ります。立憲民主党新風会は、子育て世代・障がいがある方・ご高齢者の方々と多様な社会を構成する皆様の声を丁寧に向い、本年も基本計画2018の推進と区政に努めて参る所存でございます。皆様の一層のご健康・ご多幸、感染症の終息を心より祈願しご挨拶と致します。

日本共産党中央区議会議員団 幹事長 小栗 智恵子

明けましておめでとうございます。日頃のご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。コロナの収束が見通せない中、いのちと暮らしを守るために、一番身近な中央区が果たす役割は重要です。私たち日本共産党中央区議団は、医療や介護、保育、障害者福祉の充実、地域経済の活性化をはじめ、気候危機の打開、ジェンダー平等の課題にも全力で取り組んでいきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。